



補習校だより

平成29年度 第14号

平成29年8月12日発行

マイアミ補習校

校長 實藤 哲夫

事務（携帯） 305-505-6493

校長（携帯） 917-521-5768

ホームページ miamihoshuko.org

E-mail miamihoshuko@hotmail.co.jp

戦争の悲惨さを語り継ぐ

先週は8月5日、広島原爆記念日前日でしたので、全校朝会では戦争についての話をしました。第二次世界大戦が終了して72年目の夏を迎えます。日本では戦争のない平和な日々が続いていますが、世界に目を向けてみると決してそうではありません。この72年間で争いの絶えない日はありません。何処かの国で、地域で紛争が起こっています。

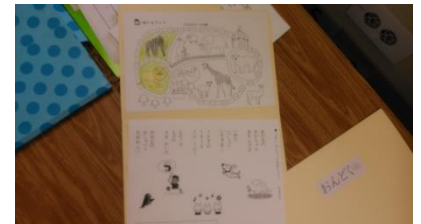
日本も、いつ戦争に巻き込まれるか分かりません。補習校の子ども達を含めた日本の子ども達が、これからも平和の中で生きていくことができるために、私たち大人は“戦争の悲惨さを語り継ぐ”ことをしなければならないと思います。戦争を経験し、その悲惨さを体験した世代が少なくなっています。戦後生まれの戦争を知らない私たちは自分の体験として語ることはできませんが、先輩たちから直接聞いた戦争の悲惨さや怖さ、戦争を無くし平和な世界を維持していく決意などを次の世代に語り継いでいくことはできます。そうして平和しか知らない子ども達が、戦争を知らない大人として成長していき、その次の世代に語り継いでくれることを願いますし、この世界全体に平和が訪れることを信じています。

幼稚部での音読学習、始まる！

幼稚部では夏休み前に、「ことば」で“ひらがなの読み”の学習を終えました。“ひらがな”で表記された一つの単語を読むことに慣れてきたので、先週からは“ひらがな”による一つの文を読む練習を始めました。

本校は「音読学習」を大事にしています。国語学力として価値があり、なおかつ、補習授業校の子ども達に有益な学習は積極的にすべきであるとの観点にたつと、積極的に「音読・朗読」をさせるのがよいという考えからです。子ども達が日本語に慣れていくためには「読み聞かせ」や「読書」が欠かせません。さらに、文字を声に出して読み、「あひるの あかちゃん あそんでる」読み取ったこと（内容・価値・特性）を音声で表現することで読みを深くすることも、日本語の力を伸ばすために必要です。

幼稚部から「音読」に取り組み、日本語に慣れ親しんでいくことは、その後の国語学習の理解を深めることにつながります。先週の学習では、たどたどしいながらも一生懸命に読んでいる子ども達の姿が印象的でした。幼稚部のみんな、がんばって！



【幼稚部の音読カード】

